

群馬大学医学部附属病院

# 群大病院だより

GUNDAI NEWSLETTER

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39-15 / TEL 027-220-7111(代) / ホームページ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

## 「育てよう、投薬をめぐる安全文化」 医療安全週間を開催しました

医療の質・安全管理部長 小松 康宏



群馬大学医学部附属病院は、安全・納得・信頼の医療を提供するよう日々努めております。全ての職員が医療安全を第一に考え、より安全・安心な医療の提供を患者さんやご家族とともに進めていくために「世界患者安全の日」である9月17日の週にあわせて医療安全週間を開催しました。2022年の世界的な安全スローガンは、「投薬の安全」です。群大病院も「育てよう、投薬をめぐる安全文化」をテーマに医療安全週間を開催しました。



患者さんが、自分がのんでいる薬の種類、目的、副作用などについて理解し、疑問点があれば医療者に尋ねることは、「患者参加型医療」をすすめるうえで重要です。そこで、患者・市民の皆様を対象として、薬に関するアンケート調査を行いました。お薬手帳は、患者さんがのんでいる薬について、医療者と情報共有する重要な手段となりますが、回答者の4人に1人は、病院や薬局にお薬手帳を持参していないことがわかりました。3人に1人は、薬について心配なことを気軽に相談できる医療者がいないと答えています。また、約2割の方は薬に関して疑問があっ

ても、医療者に質問することを躊躇されていることがわかりました（図1）。薬の効果を高め、薬の副作用を減らすために、薬についてわからないことがあれば、気軽に医師、薬剤師、看護師に相談してください。

医療安全週間では、各部署がすすめている安全強化の取り組みを患者さんに知っていただけるようポスターにまとめて掲示しました。職員の医療安全の意識を高めるために、医療安全標語を作成したり、医療安全の講演会も開催しました。医療安全週間やアンケート結果の詳細は、群大病院ホームページに示していますのでご覧ください。



図1 医療への患者参加に関するアンケート

### もくじ

- 医療安全週間を開催しました ..... 1 ページ
- 看護師の特定行為を開始しました ..... 2 ページ
- 大規模災害発生時の多数傷病者受入訓練を実施しました ..... 2 ページ
- 群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座の開催報告 ..... 3 ページ
- 循環器内科 BNP/NT-proBNP外来(木曜日)の新設について ..... 3 ページ
- リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんまに参加しました ..... 3 ページ
- 標榜診療科名変更のお知らせ ..... 4 ページ
- 病院探検！ 光学医療診療部 ..... 4 ページ
- 「重粒子線がん治療施設見学会」を開催しました ..... 4 ページ

## 看護師の特定行為を開始しました

看護部長 河村 恵美

特定行為とは、医師が作成した手順書（指示）を基に、看護師が医師の判断を待たずに、一定の診療の補助を行うことです。この行為の実施にあたっては、厚生労働大臣の指定を受けた研修機関で研修を受講する必要があります。当院には、この研修を終了し高度な知識と判断力を備えた、通称「特定看護師」3名が外来と手術室で活躍しています。



外来で活躍している特定看護師

消化管・肝胆膵外科

外来では、在宅で持続的な高カロリー輸液療法を受けている患者さんに対して、全身状態の観察、栄養状態の評価、輸液ルートの交換を行い、適切な薬剤投与が実施できているかアセスメントしています。手術室では2名の看護師が、手術中の患者さんの人工呼吸器管理や持続点滴中の薬剤調整等を行っており、麻酔管理を担っています。

今後、集中治療室や消化管・肝胆膵外科病棟でも特定看護師が誕生する予定です。チーム医療の要として活躍できるよう支援していきたいと思っています。



手術室で活躍している特定看護師2名

## 大規模災害発生時の多数傷病者受入訓練を実施しました

総務課

群馬大学医学部附属病院は、災害による重篤患者の救命医療等の高度の診療機能を有し、被災地からの患者受入、広域医療搬送に関わる対応等を行う「災害拠点病院」に指定されています。2022年12月4日、教職員の防災意識を高め、病院の受け入れ態勢の強化を図ることを目的として、大規模災害発生時多数傷病者受入訓練を実施しました。多くの教職員が参加した訓練は3年ぶりとなりましたが、南海トラフ地震が発生して震



度5強を観測

し、複数の被災地域から負傷者らの受け入れ要請が寄せられた状況を想定して行い、医師・看護師・医療職スタッフ・事務職員らが被災者の治療や刻々と変化する状況への対応等の連携を確認しました。今回の訓練結果は、本院災害マニュアルに反映させ、いざという時にしっかりと対応できるよう、引き続き取り組んでいきたいと考えております。



外来棟等で行われた訓練の様子

## 患者支援センターからのお知らせ

### 群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座の開催報告

「群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座」につきまして、今年度は、群馬大学大学院医学系研究科 泌尿器科学講座 泌尿器科学分野 教授 鈴木和浩先生から「前立腺がんの早期発見と新しい治療について」、群馬大学医学部附属病院がん看護専門看護師 看護師長 北田陽子先生から「自分らしい前立腺がんの治療方法を選ぶために」と2講演の動画を配信いたしました。配信期間は令和4年10月31日をもって終了となりましたが、昨年度同様多くの皆様にご視聴いただき、ありがとうございました。



### 循環器内科 BNP/NT-proBNP外来(木曜日)の新設について

#### — FAXによる初診予約 —

令和4年12月1日より、循環器内科「BNP/NT-proBNP外来」が新設され、初診予約申込みを開始いたしました。詳しくは患者支援センターのホームページをご覧くださいませようよろしくお願いたします。尚、引き続き患者さんの待ち時間軽減のため、FAX予約を推進しておりますのでご協力お願いたします。



### リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんまに参加しました

令和4年10月8日(土)、ALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンドにて開催された、がん患者さんやご家族を支援するチャリティ活動「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんま」に参加しました。集まった募金は実行委員会事務局を通じ、(公財)日本対がん協会へ寄付を行いました。また、寄せられたルミナリエ(がん等の病気に立ち向かっている方々へのエールを込めた灯ろう)は院内展示をしたあと、開催当日のウォークコース内に展示されました。リレーウォークでは、職員ら約90名が交代しながら6時間のイベントを歩き切りました。



## 標榜診療科名変更のお知らせ

2022年10月より、標榜診療科名等を一部変更しましたのでお知らせいたします。なお、診療科名の変更に伴う診療内容の変更などはありません。

今後も、皆様に最適な医療を提供できるよう、職員一同、全力を尽くしてまいります。皆様のご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

変更前	変更後
放射線科	放射線治療科
核医学科	放射線診断核医学科
総合診療部	総合診療科

## 病院探検！「光学医療診療部」

### 「安全」な医療を「安心」して受けていただくために

光学医療診療部では、最新の胃カメラ・大腸カメラなどを用いて、食道、胃、十二指腸、大腸の早期がんに対する治療や胆管結石の取り除きなど、



内視鏡治療の様子

検査のみならず数多くの先進的、かつ、体の負担が少ない内

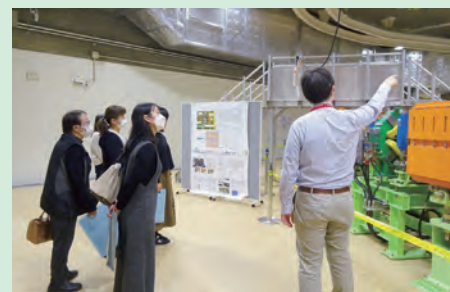
視鏡治療を行っています。医師・看護師・検査技師など多職種で連携を図り、内視鏡検査や治療を受ける患者さんの不安や痛みを軽減できるよう、患者さんに寄り添った医療・看護を目指して取り組んでいます。



光学医療診療部スタッフ

## 「重粒子線がん治療施設見学会」を開催しました

2022年10月22日、一般の方を対象とした見学会を3年ぶりに開催しました。新型コロナウイルス感染対策のため、参加人数を100名に限定し、事前申込制としましたが、500名近くの方から申込がありました。この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。見学会は、1グループを7人程度とした上で、40分程の見学コースを職員が先導する



加速器室

形式として実施しましたが、参加した方からは、「良い経験になった」「治療の仕組みを知ることができた」等のご感想をいただきました。ありがとうございました。

群馬大学公式 YouTube チャンネルへ  
「重粒子線医学センターバーチャルツアー」



CT シミュレーション室



群馬大学医学部附属病院「群大病院だより」

第14号 2023年3月

編集 ■ 群大病院だより編集委員会

発行 ■ 群馬大学医学部附属病院

発行日 ■ 2023年3月7日

ホームページ ■ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

### 病院の理念

大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る。

### 基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。  
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。  
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。  
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。